

北海道海鳥センター20周年を契機とした普及啓発事業の実施

北海道海鳥センター20周年記念事業実行委員会

北海道

北海道海鳥センター20周年記念事業 二島めぐりエコツアー実施報告

1 ツアーの概要

- (1) 名称 身近な自然にふれる離島めぐりツアー
- (2) 目的 羽幌地域は自然環境が豊かで、海鳥の楽園・天売島や島の1/3が原生の森・焼尻島も町を代表する自然スポットの一つ。しかし、中にはさまざまな事情で島を訪れたことがない町民も少なくない。海鳥センター開館20周年を機に、町民に羽幌地域の自然環境を考えてもらうきっかけとして、身近にあるふたつの島をめぐりながら、海鳥をとりまく環境とこの地域ならではの自然を学ぶことを目的としたエコツアーを実施する。
- (3) 主催（共催） 北海道海鳥センター20周年記念事業実行委員会、北海道留萌振興局
- (4) 旅行主催 沿岸バス株式会社

2 ツアーの報告

- (1) 日程 平成29年7月16日（日）～17日（月祝）
- (2) 参加者 14名（大人11名、子ども3名）
- (3) 旅行代金 大人ひとり7,000円
※交通費、宿泊代、体験費用、食事代（16日昼夕食、17日朝昼食）含む。
- (4) スケジュール

月日	計画	実績
7/16 （日）	8:00 フェリーターミナル集合・受付	8:00 フェリーターミナル集合・受付
	8:30 2便フェリーで天売島へ	8:30 2便フェリーで天売島へ
	10:05 天売島着	10:35 天売島着
	〔体験〕天売観光バス	10:50 〔体験〕海の宇宙館スライドショー
	12:30 〔昼食〕海友丸を想定	12:00 〔昼食〕海友丸（ガヤ天井）
	14:00 〔コース別自然体験〕 A 漁船クルーズ B シーカヤック C ガイドウォーク	13:00 〔体験〕天売観光バス
	17:30 〔夕食〕旅館	14:30 宿泊先で休憩（旅館 青い鳥）
	19:00 〔体験〕ウトウウォッチング	17:30 〔夕食〕旅館
	20:30 一日目終了	19:00 〔体験〕ウトウウォッチング
7/17 （月）	4:00 〔オプション〕※希望者のみ	20:30 一日目終了
	7:30 〔朝食〕旅館 〔自由時間〕	6:00 〔体験〕漁船クルーズ
	9:40 1便高速船で焼尻島へ	8:00 〔朝食〕旅館 *自由時間
	9:55 焼尻島着	9:40 1便高速船で焼尻島へ
	〔体験〕焼尻ツアーガイド	9:55 焼尻島着
	12:00 〔昼食〕	〔体験〕焼尻ツアーガイド
	13:05 3便高速船で羽幌町へ	12:00 〔昼食〕島っ子食堂
13:40 羽幌到着 解散	13:05 3便高速船で羽幌町へ	
		13:40 羽幌到着 解散

(5) 事前PR

参加者募集のPRは、町広報やチラシの全戸配布、北海道海鳥センターのホームページ、新聞記事掲載などによって行った。

北海道海鳥センター開館20周年記念

この機会に“天売島”と“焼尻島”の
大自然を体感してみませんか

出発日 平成29年7月16日(日) 1泊2日(天売島泊)
対象 羽幌町内在住の方
定員 20名 (最小催行人員2名/添乗員は同行しませんが、実行委員会スタッフが案内します)
※天売島・焼尻島いずれの島も訪れたことがない方優先。定員になり次第締め切ります。
申込 沿岸バスツアーデスク 0164-62-2051 に電話でお申込みください。
募集開始 平成29年6月23日(金) 午前9:00
旅行代金 大人 7,000円 (お子様連れの場合はご相談ください)
宿泊費(旅館青い鳥又は同等クラス)、交通費、食事代(朝1昼2夕1)、各種体験、旅行傷害保険料を含む。

身近な自然に
ふれる

二島めぐり
ツアー

1日目(7月16日)

- 8:00 羽幌フェリーターミナル集合・受付
- 8:30 羽幌沿海フェリー(フェリー)で天売島へ移動
- 10:10 観光バスで天売島内一周
- 12:30 食堂で昼食
- 14:00 コース別自然体験
A 漁船クルーズ(定員8名)
B シーカヤック(定員7名)
C ガイドウォーク(定員5名)
- 17:30 宿泊先へチェックイン・夕食
- 19:00 ウトウ・ナイトウォッチング
(昼食1回、夕食1回、天売島泊)

2日目(7月17日)

- 4:00 網はずし体験 ※オプション(希望者のみ)
- 8:00 宿泊先で朝食
- 9:40 羽幌沿海フェリー(高速船)で焼尻島へ移動
- 10:00 天然記念物指定“焼尻の自然林”散策
- 12:00 食堂で昼食
- 13:05 羽幌沿海フェリー(高速船)で羽幌へ移動
- 13:40 羽幌フェリーターミナル到着・解散
(朝食1回、昼食1回)

※フェリーおよび高速船欠航時、その他気象条件等により、行程変更や旅行中止となる場合があります。

【旅行主催・ツアーの申込】
沿岸バス株式会社 羽幌町南3条2丁目2番地の2
北海道知事登録旅行業第2-283号
電話：0164-62-2051 (日曜日・祝日は休業)

【主催】 北海道海鳥センター20周年記念事業実行委員会
【共催】 留萌振興局
【ツアー内容のお問い合わせ】 北海道海鳥センター
電話：0164-69-2080 (月曜日と祝日の翌日を除く9:00~17:00)

天売 選べる自然体験!



旬のウニを食べよう!



原生林の中を散策 焼尻



注) 旅行条件等は、沿岸バス株式会社にお尋ねください

募集チラシ

(6) 1日目 【7月16日】

① 羽幌フェリーターミナル集合

午前 8:00 集合予定でしたが、この日の羽幌町周辺は夏とは思えないほど深い霧に包まれ、この時点では天候調査中。参加者の方には自宅待機を伝え、すぐに連絡がとれるようにしてもらいました。

その後、定刻どおりの出航が決定し、急きよ参加者に連絡。無事 14 名全員が集合しました。

② 2 便フェリーで天売島へ移動

朝よりは霧は晴れてきましたが、島のほうがひどいとのこと。1 便高速船は焼尻島に接岸できず、そのまま天売島へ向かったそうです。フェリーも警笛を鳴らしながらのんびり航行。天売島への到着は 30 分ほど遅れました。



③ 天売島到着（オリエンテーション）

あいにくの天候のため、スケジュールを変更しての実施を連絡。楽しみにしていたのに残念



④ 海の宇宙館

外はあいにくの雨……。霧もかかっており島内周遊はできないため、自然写真家の寺沢孝毅さんのご厚意により、館内で天売島の紹介や島に生息する海鳥のスライドショーを鑑賞させていただきました。



⑤ 昼食（めし処 海友丸食堂）

メニューは天売島近海で獲れたガヤの天井。



⑥ 天売島周遊観光（観光バス）

午後からは天売小型運輸による島内一周観光。島の歴史や現状など、齊藤 暢さんがわかりやすくガイドしてくれました。



黒崎海岸



深い霧のため展望台からは赤岩どこか、海面すら見えませんでした。



海鳥観察舎



観音岬展望台



⑦ 夕食（旅館 青い鳥）

船に揺られた身体を休ませるため、早めに旅館へ移動し、夕食時間まで各自思い思いの時間に。夕食は天売島自慢のウニを堪能していただきました。



⑧ ウトウ・ウォッチング

ようやく霧も晴れ、一行はメインのウトウウォッチングへ。



(7) 2日目 【7月17日】

⑨ 漁船クルーズ (観光船・栄丸)

波の予報が良くなったため、栄丸さんが早朝クルージングに出航してくれることに。船が苦手な参加者もいたため、希望者を募り9名が参加しました。



遠くからですが、ウミガラス (オロロン鳥) の姿も確認できました。

⑩ 焼尻島 (ツアーガイド)

朝の高速船で焼尻島へ移動。

案内役は地元ガイドの奥野 真人氏と焼尻島に詳しい有田 智彦氏。



国の天然記念物に指定されている「焼尻の自然林」を中心に島内を歩きながら島の歴史にふれました。



⑪ 羽幌フェリーターミナル 解散

北海道海鳥センター開館 20 周年記念事業「海鳥を守る海岸清掃」

■ イベント概要

1. 趣旨

海岸清掃活動を通して、海鳥をはじめとする自然環境への影響が懸念されている海岸漂着ごみの問題をより多くの方に知ってもらおう。

2. 日時

平成 29 年 7 月 30 日（日） 9 : 00 ~ 10 : 30

3. 場所

はぼろサンセットビーチ南側海岸

4. 参加人数

約 130 名

5. 日程

時間	プログラム	内容
9 : 00	・参加者集合 ・ごみ袋等配布 ・開会挨拶、全体説明	友の会・金田代表の開会挨拶後、イベントの開催趣旨やスケジュール、回収したごみの分別方法の説明等
9 : 10	・ごみ拾い開始	海水浴場南端より南へ向かってごみ拾いを開始。
9 : 45	・ごみ拾い終了、回収ごみ運搬	回収したごみをトラックまで運搬
10 : 00	・休憩 ・資料配布、プラスチックごみの話	休憩中に海岸漂着ごみに関する資料を配布、説明
10 : 30	・イベント終了、解散	

■ イベントの様子



開会挨拶、全体説明



ごみ拾い



漂着ごみの話と
当日配布した資料

■ 開催結果

- ・イベントには町内の小中学生やボランティア団体の参加もあり、多くの参加者で海岸清掃を行うことができ、計 750kg のごみを回収することができた。
- ・地域住民の理解を得るためにも、イベント開催場所近く（幸町など）からの参加がもっとあるとよかった。
- ・今回の清掃作業では、ごみが特に多く散乱している地点（小屋のある所）まで時間内に到達しなかったため、ごみ拾いの開始地点を分けるなどの工夫が必要。
- ・今後も海鳥センター友の会の定例行事として開催していきたい。

北海道海鳥センター20周年記念「海鳥デザインコンテスト」報告

1. 事業名 北海道海鳥センター20周年記念「海鳥デザインコンテスト」
2. 目的 「天売島（羽幌町）＝海鳥」のイメージを町外及び全国に広めるとともに、多くの人に海鳥保護や海洋環境保全のメッセージを伝える。
3. 内容 海鳥保護や海洋環境保全のメッセージが伝わるようにデザインされた海鳥のデザイン画を募集。
4. 募集結果 一般部門85点、ジュニア部門27点、合計112点の応募があった。
5. 受賞作選考会
受賞品を決定する選考会を7月6日に開催し、一般部門12点（最優秀賞1点、優秀賞2点、入選4点、特別賞5点）、ジュニア部門17点（最優秀賞1点、優秀賞4点、入選12点）を選考した。
6. 選考委員 梅原賢伸（苫前町立苫前中学校教諭・選考委員長）、金田幸太郎（実行委員長）、濱野孝（実行委員会副委員長）、入澤清（友の会）、有田智彦（羽幌みんなでつくる自然空間協議会）石郷岡ゆりか（友の会）、海鳥センタースタッフ
7. 作品展示 受賞作品展を7月15日～31日までサンセットプラザ1階で開催した。8月からは海鳥センターで展示した。

○最優秀賞作品画像



菊地 陽子（旭川市・47歳）『海の宝箱』

（選考委員長講評）

海鳥の愛らしさと大切さが宝箱とともに描かれていて、温もりも伝わってきます。バランスの取れた構図にオレンジを基本として少ない色数を有効に配置した力作です。



神嶋 しおり（大阪府・交野市立第四中学校2年）『自然を守ってこそ、海鳥を守れる』

（選考委員長講評）

中学2年生（14歳）の作品と聞いて審査員一同驚いています。上空を飛翔する海鳥の視界に広がる現代社会と自然の今の様子が細密に描かれています。

北海道海鳥センター20周年記念事業

海鳥デザインコンテスト



平成22年度開催 第10回海鳥デザインコンテスト オロロン鳥賞（一般部門最優秀賞）
武藤 洋子さん 『SAVE ORORON!』

作品募集!

海鳥と海の世界を守る想いを
デザインしてみよう!

北海道海鳥センター開館20周年を記念して「海鳥デザインコンテスト」を開催します!海鳥や海を守るため、あなたの想いを描いて下さい。

受賞作品は海鳥保護や自然環境の保全に活用します。ふるってご応募下さい!

【応募締切】

平成29年6月30日（必着）

※応募規定など詳細は、北海道海鳥センターウェブサイトをご覧ください。



北海道海鳥センターウェブサイトの海鳥デザインコンテスト詳細ページはこちら

<http://www.seabird-center.jp/event1.html>

応募先

お問い合わせ

北海道海鳥センター

〒078-4116

北海道苫前郡羽幌町北6条1丁目

電話 0164-69-2080 FAX 0164-69-2090

mail seabird@town.haboro.lg.jp

主催：北海道海鳥センター20周年記念事業実行委員会



北海道海鳥センター20周年記念事業
「留萌管内 生きもののにぎわい写真展」開催報告

行事名：「留萌管内 生きもののにぎわい写真展」

目的：留萌管内の自然環境や野生動植物の多様性について理解を深める。また、冬季の集客につなげる。

内容：留萌管内で撮影された自然環境や野生動植物の写真を募集し、作品展を開催する。

【作品募集】

募集期間：平成29年12月18日（月）～平成30年1月31日（水）

募集結果：留萌管内のほか全道から29名、計76作品の応募があった。応募者全員に記念品として、海鳥センター友の会のオリジナル「海鳥ポストカード10枚セット」と「海鳥切手」、また20周年記念事業で作成したクリアファイルと缶バッジを謹呈した。

【写真展の開催】

開催内容：応募のあった全作品と、羽幌ボーイ・ガールスカウトの子供たちが写真家の小寺卓也氏と作成した写真絵本11冊を展示室に展示した。

開催期間：平成30年2月11日から平成30年5月末を予定

- ・ 予想よりも多くの応募があった。
- ・ 写真展見学者は天候にもよるが休日を中心に来館している。
- ・ 応募者からは、「コンテストではないので応募しやすかった」と聞いている。
- ・ 写真展見学者からは、「写真が多く、色々な生き物があり、見応えがある」「次回開催されるなら応募したい」との感想があった。



写真：留萌管内 生きもののにぎわい写真展

北海道海鳥センター20周年記念事業「環境映画上映会」開催報告

目的：映画鑑賞をとおして環境問題について考え、自分に関わりのある身近な問題として捉える。

内容：一般対象のドキュメンタリー映画「ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション 真の代償」と、親子対象のアニメ映画「河童のクゥと夏休み」を上映した。

日時：①平成30年2月12日（月・祝）1回目14:00～/2回目18:00～
上映作品「ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション 真の代償」

②平成30年2月18日（日）1回目9:30～/2回目13:30～
上映作品「河童のクゥと夏休み」

場所：北海道海鳥センター 映像ルーム

【開催結果】

参加人数：「ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション 真の代償」

1回目 15名、2回目 5名、計 20名

「河童のクゥと夏休み」

1回目 11名（親子2組、子供3名）

2回目 5名（親子1組子供1名） 計16名

- ・ 参加人数が予想より少なかった。両日ともオリンピック開催期間中であったことが影響しているかもしれない。
- ・ 2/12 は暴風雪警報が出ていた。「天気が良ければ行きたかった」と、遠方の方数人から聞いている。
- ・ 来場者からは両作品とも好評であった。



写真：「ザ・トゥルー・コスト」上映会



写真：「河童のクゥと夏休み」上映会

北海道海鳥センター 20周年記念事業

環境映画上映会

環境がテーマの映画上映会を行います。一般（大人）向けのドキュメンタリー映画と、親子（子ども）向けのアニメ映画の2本を上映！私たちの環境について考えてみませんか。

会場：北海道海鳥センター映像ルーム **入場無料！**



▶ 一般（大人）向けドキュメンタリー映画

『ザ・トゥルー・コスト
～ファストファッション 真の代償～』

2018年2月12日（月・祝）

1回目 14:00～ 2回目 18:00～



▶ 親子（子ども）向けアニメ映画

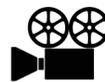
『河童のクウと夏休み』

2018年2月18日（日）

1回目 9:30～ 2回目 13:30～

主催：北海道海鳥センター 20周年記念事業実行委員会

上映作品紹介



『ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション 真の代償～』

この数十年、服の価格が低下する一方で、人や環境が支払う代償は劇的に上昇してきた。本作は、服を巡る知られざるストーリーに光を当て、「服に対して本当のコストを支払っているのは誰か？」という問題を提起する、ファッション業界の闇に焦点を当てたこれまでになかったドキュメンタリー映画だ。



(C) TRUECOSTMOVIE

この映画は、きらびやかなランウェイから鬱々としたスラムまで、世界中で撮影されたもので、ステラ・マッカートニー、リヴィア・ファースなどファッション界でもっとも影響のある人々や、環境活動家として世界的に著名なヴァンダナ・シヴァへのインタビューが含まれている。またフェアトレードブランド「ピープル・ツリー」代表サフィア・ミニーの活動にも光を当てている。私たちは行き過ぎた物質主義の引き起こした問題に対して、まず身近な衣服から変革を起こせるのかもしれない。(ユナイテッドピープル)

<監督：アンドリュー・モーガン／2015年／アメリカ／98分／字幕>

『河童のクゥと夏休み』

夏休み前のある日、康一が学校帰りに拾った石を洗っていると、中から河童の子どもが現れた。第一声から「クゥ」と名づけられた河童は人間と同じ言葉を話し、初めは驚いた家族もクゥのこを受け入れ、クゥと康一は仲良しになる。やがてクゥが仲間の元に帰ると言い出し、康一はクゥを連れて河童伝説の残る遠野へ旅に出る。



(C) 2007 木暮正夫 / 「河童のクゥと夏休み」 製作委員会

『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶアッパレ！ 戦国大合戦』などで高い評価を受ける原恵一監督が、5年の制作期間を経て完成させた感動のアニメ超大作。児童文学作家、木暮正夫の「かっぱ大さわぎ」「かっぱびっくり旅」を原作に、現代によみがえった河童と少年のひと夏の交流を美しい日本の風景の中に描く。家族のきずなや友情、自然環境など現代社会で問題になっているテーマをさりげなく盛りこんだストーリーに心を揺さぶられる。(シネマトゥデイ)

<監督：原 恵一／2007年／日本／138分>

北海道海鳥センター 20周年記念 環境映画上映会 入場無料

日時 2018年2月12日 14:00/18:00[ザ・トゥルー・コスト]

2月18日 9:30/13:30[河童のクゥと夏休み]

会場 北海道海鳥センター映像ルーム(苫前郡羽幌町北6条1丁目)

お問い合わせ TEL 0164-69-2080

